

派遣報告書（報告者：御手洗 亮）

大会名	令和7年度 全校中学校総合体育大会 バasketボール競技
開催地	サンアリーナせんだい（鹿児島県薩摩川内市）
日 時	令和7年8月24日
担当ゲーム1	女子準決勝 メリノール学院中学校（三重県） v s 八王子第一中学校（東京都）
クルー	坂、御手洗、川井
（担当ゲーム）Pre-Game Conference	
CCより、 1. 両チームのスカウティングと情報交換 2. ベーシックなメカニクス 3. TOとの協力について を主な話題として提供され、クルー間でのエッジがなくなるよう、コミュニケーションをとり臨んだ	
（担当ゲーム）Post-Game Conference	
担当ゲーム1について、IRより ・両チームとも最後まであきらめない粘り強くタフなバスケットが展開され、それが、審判によって導き出されたものであった ・見ている側は、「どうなんだろう」と思う接触もあったが、プレイヤーやゲームにとっては当たり前でお互い様のこととして捉えられていた ・不必要にゲームが止まることもなく、ショット、ルーズボールなど見ごたえのあるゲームであった ・クルーは、お互いがプライマリーを意識されていて、プライマリーによる判定がされていた ・ゲームフロー、ファウルフローも意識されていて、両チームのプレイヤーがストレスなくプレイに集中できていた	
今大会に参加しての感想など	
この度は、今大会に派遣をしていただきありがとうございました。 各ブロック大会を勝ち抜いたチームが、全国の頂点をかけて戦う、3年生の部活動の引退もかかった熾烈な大会でした。 九州大会同様、選手・指導者・保護者の熱い思いがコート上でぶつかり合い、最後まで気を緩めることができなかったと思います。 ですが、試合終了時には、関係者全てが惜しみない拍手に包まれてコートを去ることができるよう、クルーと協力して担当することができました。 特に、クルーワークを意識し、各自が自分の最大限の力を発揮できるように努めました。 最終日まで勝ち残った両チームは、世代を代表するチーム・選手であり、コート上の全ての出来事に対して、気を許せるものではありませんでした。特に、ショットやルーズボールの見極めに対しては、精度の高い分析が求められていたと思います。世代トップクラスの選手たちの卓越したスキルや強いフィジカル、スピードを発揮してもらうことができたと思います。 また、会場やネットで見ている方々にも、この試合の素晴らしさを共感してもらうことができたと思います。 TOを担当してくれた中学生たちともコミュニケーションをとり、今大会に携わった仲間となれたと思います。 6年ぶりに参加させていただいた全国中学大会でしたが、特にU16カテゴリーの方々と一緒にできたことが嬉しかったです。 開催地の鹿児島県協会、薩摩川内市協会の皆様方に対しまして細部に渡るお心遣いに感謝申し上げます。 全国中体連、JBAなど、大会関係者の皆様方にも感謝申し上げます。 ありがとうございました。	